

KIITO:

トークセッション

「創造を、ひらく。— クリエイティブは誰のもの？」開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、トークセッション「創造を、ひらく。— クリエイティブは誰のもの？」を開催します。

「クリエイティブ」や「創造」という言葉は、デザインやアートの分野にとどまらず、教育、福祉、まちづくり、企業活動など、さまざまな場面で用いられるようになりました。一方で、それらの言葉が何を指し、私たちの暮らしや社会にとってどのような意味を持つのかを、立ち止まって考える機会は多くありません。

KIITO は、「みんながクリエイティブになる、そんな時代を中心になる」をスローガンに掲げ、デザインやアートの視点を生かしながら、さまざまな人や分野が出会い、交流し、新たなアイデアや工夫が生まれる場づくりに取り組んでいます。

本トークセッションでは、このスローガンを手がかりに、「クリエイティブは誰のものか」という問いを起点として、クリエイティブがなぜ暮らしや社会に必要なのか、文化施設は多様な人々の創造的な実践をどのように支えることができるのかについて考えます。

ゲストには、「さいたま国際芸術祭 2023」や「混浴温泉世界」など、アートを通じて人・地域・社会の新たな関係性を築くプロジェクトを数多く手がけてきた P3 art and environment 統括ディレクター・芹沢高志氏と、「かえっこ」をはじめとする市民参加型のアートプロジェクトを国内外で展開し、秋田市文化創造館初代館長として、誰もが表現や活動を始められる文化拠点の運営などに取り組んできた美術家・藤浩志氏を迎えます。

地域や社会の中で創造的な実践を積み重ねてきたお二人の経験をもとに、クリエイティブがなぜ暮らしや社会に必要なのか、多様な人々の創造的な実践を文化施設はどのように支えることができるのかについて、多角的な視点から議論します。

概要

事業名：「創造を、ひらく。— クリエイティブは誰のもの？」

日時：2026 年 8 月 26 日（水）18:30～20:30

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 1F + クリエイティブスタジオ

参加費：入場無料（事前申込、先着順）

定員：50 名程度

お申込み：2026 年 7 月 23 日（木）15:00 より KIITO ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）よりお申込みください。

ゲスト：芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）、藤浩志（美術家、東京藝術大学 客員教授）

モデレーター：永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

【ゲストプロフィール】



芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）

1951 年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株) リジонаル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。その後、東京・四谷の禅寺、東長寺の新伽藍建設計画に参加したことから、89 年に P3 art and environment を開設。99 年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展「デメーテル」総合ディレクター（02 年）、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長（03～16 年）、横浜トリエンナーレ 2005 キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター（09 年、12 年、15 年）などを務める。2014 年、さいたまトリエンナーレ 2016 ディレクター。2012 年～2021 年 3 月までデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）センター長。さいたま国際芸術祭 2027 プロデューサー。



藤浩志（美術家、東京藝術大学 客員教授）

1960 年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇に没頭した後、公共空間での表現を模索。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初的表現と人類学に出会う。バブル崩壊期の土地再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市を学ぶ。全国各地で地域資源・適正技術・協力関係を活かしたアートプロジェクトを实践。神戸大学非常勤講師、十和田市現代美術館館長、秋田公立美術大学教授、秋田市文化創造館館長を経て東京藝術大学客員教授、NPO 法人アーツセンターあきた理事長、NPO 法人プラス・アーツ副理事長、株式会社藤スタジオ代表。

【モデレータープロフィール】



永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）

1968 年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993 年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001 年「iop 都市文化創造研究所」を設立。2006 年「NPO 法人プラス・アーツ」設立。2012 年 8 月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021 年 4 月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪 2009・水辺の文化座」、「イザ！カエルキャラバン！」（2005 年～）、「地震 EXPO」（2006 年）、「ちびっこうべ」（2012 年～）、「EARTH MANUAL PROJECT 展」（2013 年～）、ラ・フェス（2023 年～）などがある。